

2020

6-7月

はしかけニューズレター

2020年度 第2号 通巻153号

2020年(令和2年)6月1日発行

編集・発行: 滋賀県立琵琶湖博物館 交流担当 (はしかけ担当職員: 中川・八尋)

住所: 〒525-0001 滋賀県草津市下物町 1091 電話: 077-568-4811 ファックス: 077-568-4850

電子メール: hashi-adm@biwahaku.jp 琵琶湖博物館ホームページ: <https://www.biwahaku.jp>

(注意) 平成30年11月よりHPアドレスが変更になっています。

～ 目次 ～

1. 事務局からのお知らせ

2. はしかけグループの活動報告と活動予定

- (1) うおの会 (2) 近江 巡礼の歴史勉強会 (3) 淡海スケッチの会
- (4) 近江はたおり探検隊 (5) 大津の岩石調査隊 (6) 温故写新
- (7) 暮らしをつづる会 (8) 古琵琶湖発掘調査隊 (9) 湖(こ)をつなぐ会 (10) ザ! ディスカバはしかけ
- (11) 里山の会 (12) 植物観察の会 (13) たんさいぼうの会 (14) 田んぼの生き物調査グループ
- (15) タンポポ調査はしかけ (16) ちっちゃなこどもの自然あそび(ちこあそ) (17) 琵琶湖の小さな生き物を観察する会
- (18) びわたん (19) ほねほねくらぶ (20) 緑のくすり箱 (21) 虫架け (22) 森人 (23) 琵琶湖梁山泊
- (24) サロン de 湖流 (25) 水と暮らし研究会 (26) 海浜植物守りたい

3. 生活実験工房からのお知らせ

4. その他の事項

会員数 ... 311人

グループ数 26グループ

(2020年6月1日現在)

1. 事務局からのお知らせ

今年度から新しく「はしかけ」制度の担当となりました交流係の中川です。専門は農業土木です。新型コロナウイルス感染症については、まだまだ予断を許さない状況で、皆様、公私ともども大変苦慮されておられると思います。そのような中ではありますが、博物館も少しずつ再開を進めているところです。はしかけ活動につきましても、適時、担当学芸員と相談しつつ、活動を再開していただければと思います。担当としては「はしかけ」制度をますます盛り上げていきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願い致します。

■はしかけ活動自粛中の取り組みについて

今回のニューズレターでは執筆者の方に、はしかけ活動自粛中において各グループで工夫されている情報共有の方法や、スキルアップへの取り組みなどの紹介をお願いしていました。その結果、いくつかのグループから報告がありましたので、ぜひ今後の参考にして頂ければと思います。あつてほしくはないですが、今後もこのような事態が起こるかもしれません。これからのことも考え、在宅でも可能な活動などを、楽しみながら考え実践して頂ければ幸いです。

情報共有の方法について、報告の中で一番多かったのがメーリングリストやグループメールの活用で、4グループありました。SNSなどに抵抗がある方もいらっしゃると思うので、情報の共有には一番堅実だったのかもしれませんが。次にZoom ミーティングによる打ち合わせが2グループ(凄い!)ありました。ほかに、会報の発行、LINEでのグループトーク、掲示板、facebook、ブログの利用などが1グループずつありました。

オンラインでの取り組みをされているグループに注目すると、まずは、そういうことに知識が明るい方が中心になって取り組みを進めておられるようです。そのような方をグループの中で発見したり、育成していくことも今後の課題かもしれません。

(中川 信次)

2. はしかけグループの活動報告と活動予定



(1) うおの会

【活動報告日の活動会員数(のべ) — 名】

グループ代表アドレス: hashi-uonokai@biwahaku.jp

グループ担当職員: 松田 征也

【活動報告】

■3月29日(日)総会

中止とし、年度活動報告、次年度活動計画などを会員宛にメール送付し、総会に代えることとしました。

■4月19日(日)、5月17日(日)定例調査

中止となりました。

【活動予定】

■6月以降、活動を再開予定です。予定はホームページをご覧ください。



(2) 近江 巡礼の歴史勉強会

【活動報告日の活動会員数(のべ) — 名】

グループ代表アドレス: hashi-junrei-rekishi@biwahaku.jp

グループ担当職員: 橋本 道範・渡部 圭一

【活動報告】

新型コロナウイルスの感染拡大の影響で活動を休止しています。

【活動予定】

蓄積データの編集などの作業を中心にして今後の活動計画を見直す。

(福野憲二)

*この活動に興味のある方は、上記メールアドレスにてご連絡ください。



(3) 淡海スケッチの会

【活動報告日の活動会員数(のべ) — 名】

グループ代表アドレス: hashi-sketch@biwahaku.jp

グループ担当職員: 榎永 一宏

【活動報告】

下記、3月～5月の活動は、新型コロナウイルスの影響により中止しました。

■3月22日(日)

オープンラボ(琵琶湖博物館)

■4月26日(日)

浜大津イングリッシュガーデン(大津市)

■5月24日(日)

海津大崎(高島市)

【活動予定】

■6月28日(日)

芦刈園(守山市)にて活動予定。

10時30分 芦刈園チケット売場前に集合。

スケッチの道具、飲み物、お弁当をご持参ください。

※雨天時は、琵琶湖博物館内にてスケッチを行います。

■ 7月19日(日)

琵琶湖博物館

10時30分に正面入口付近に集合。

今年も猛暑が予想されるため、7月～8月は館内で活動を行います。

*変更がある場合は、メールでお知らせします。

※初めて参加される方は080-5709-8634(金山)までご連絡ください。



(4) 近江はたおり探検隊

【活動報告日の活動会員数(のべ) — 名】

グループ代表アドレス: hashi-oumihataori@biwahaku.jp

グループ担当職員: 渡部 圭一

当グループは通常実験工房で活動しているため、博物館の休館中は活動を休止しています。博物館の開館に合わせて活動を再開したいと思います。

【活動報告】

織姫の会

- 3月11日(水) 活動中止
- 3月28日(土) 活動中止
- 4月11日(土) 活動中止
- 4月22日(水) 活動中止
- 5月9日(土) 活動中止

【活動予定】

織姫の会

6月6日(土)、24(水)、7月4日(土)、22日(水)

(辻川 智代)



(5) 大津の岩石調査隊

【活動報告日の活動会員数(のべ) — 名】

グループ代表アドレス: hashi-ganseki@biwahaku.jp

グループ担当職員: 里口 保文

【活動報告】

■2020年4月の活動

- ・音羽山調査(中止)

4/11に音羽山の野外調査を計画したが新型コロナの影響で3月に続き中止した。

- ・新型コロナ対策 facebook と無料掲示板の作成

当面、野外調査活動は実施不能。今は自主学習や今後の計画を話し合うくらいしかすることがなく、そのためのツールとして、隊員専用のfacebook と無料の掲示板を里口さんが用意してくれました。

■2020年5月の活動

- ・織山調査(中止)

近江八幡市と東近江市の境界の織山に行く予定で先行調査等を進めたが新型コロナの影響で中止にしました。

- ・新型コロナ解除後の対応策の具体化の予備検討

琵琶湖博物館のすばらしさの一つは、資料に自由に触れることができること、また、「はしはけ」制度の構築により、測定機器等も使用できることである。一方、コロナ対策はいくつかの点でこうした方針と相いれない項目もあると思われる。そうした項目のリストアップと具体的な対策の予備検討を始めた。

【活動予定】

■2020年6月の活動予定

5月に調査する予定であった織山に行くべく、綿密な計画を中村さんと北野さんが中心になり作成中。

マスクを使用しての野外調査となる。熱中症予防策も必要。安全に調査すべく、調査時間の短縮、参加者の人数限定なども含め計画中。調査は6月下旬。詳細決まったら連絡します。



(6) 温故写新

【活動報告日の活動会員数(のべ) — 名】

グループ代表アドレス: hashi-onkosyasin@biwahaku.jp

グループ担当職員: 金尾 滋史

【活動報告】

3月以降、メンバーが集まったの活動は休止しておりますので、3月に予定していた総会も延期となっております。これにより2020年度の活動もまだ具体的な計画は立てることができていません。

そのため、メンバーは各自無理のない範囲で自宅近くの風景や生き物の写真などを中心に撮影をしています。そして、それらの情報交換のために、メーリングリストを立ち上げ、メンバーが撮影した写真を投稿しています。

鳥や植物、昆虫などいろいろなジャンルの投稿がありますが、生物や地学に詳しいメンバーがいるため、どういう名前なのか、こういう点が珍しい!といういろいろな知識も身につけています。

【活動予定】

今後、活動再開の際になった場合、総会を開催して2020年度の年間計画を立てる予定です。



(7) くらしをつづる会

【活動報告日の活動会員数(のべ) — 名】

グループ代表アドレス: hashi-kurashi@biwahaku.jp

グループ担当職員: 渡部 圭一

【活動報告】 活動はありませんでした。

【活動予定】 未定です。



(8) 古琵琶湖発掘調査隊

【活動報告日の活動会員数(のべ) — 名】

グループ代表アドレス: hashi-hakutsu@biwahaku.jp

グループ担当職員: 山川 千代美

【活動報告】

■4月・5月は新型コロナウイルス感染拡大防止対策の為、活動を自粛しました。

活動自粛中もメンバー同士のつながりが持てるよう、メンバーの一人から他のメンバーに向けて、数回、メールで楽しいクイズの出題がありました。

【活動予定】

■ 未定



(9) 湖(こ)をつなぐ会

【活動報告日の活動会員数(のべ) — 名】

グループ代表アドレス: hashi-ko-tunagu@biwahaku.jp

グループ担当職員: 林 竜馬

【活動報告】 活動なし

湖をつなぐ会の活動は、子どもたちと一緒に対話をしながら、琵琶湖にいる魚や琵琶湖の廻りの植物についての関心を高めることを目指して行っています。いつも、子どもたちとワイワイガヤガヤと楽しんでいるので、当分の間はたくさん集まって紙芝居を上演することは難しいと考えています。

【活動予定】

■ 未定



(10) ゼ！ディスカバはしかけ

【活動報告日の活動会員数(のべ) — 名】

グループ代表アドレス: hashi-discov@biwahaku.jp

グループ担当職員: 妹尾裕介、大槻達郎

すっかり春らしさは影をひそめ、日に日に暑くなってきました。もう夏がそこまで来ていますね。いまだ新型コロナウイルス感染症対策のため、残念ながらいまだ活動はできていません。世の中が落ち着いて、たくさんの笑顔がみれるイベントを実施できることを祈っています。

【活動報告】 なし

【活動予定】 現在調整中、詳しい内容はメールで問い合わせください。

ディスカバリールームで「こんな楽しいことしたい！」などアイデア・提案があれば、お気軽に妹尾・大槻まで声をかけてください。いつでもお待ちしております！

新しいメンバーも大募集中です。一緒に楽しい発見(ディスカバ)してみましょう！

また、ゼ！ディスカバはしかけでは、定期的にイベントを開催しています。ぜひご参加ください。



(11) 里山の会

【活動報告日の活動会員数 — 名】

グループ代表アドレス: hashi-satoyama@biwahaku.jp

グループ担当職員: 山本 綾美

【活動報告】

下記、4月～5月の活動は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止しました。

- 4月18日(土) 里山体験教室 下見 中止
- 4月26日(日) 里山体験教室本番 中止
- 5月 3日(日) 山菜パーティ 中止

【活動予定】

- 6月 8日(月) 潮干狩り
- 7月12日(日) 里山体験教室は中止です。
- 8月 8日(土) ハンモック虫干し、そうめん流し



(12) 植物観察の会

【活動報告日の活動会員数(のべ) — 名】

グループ代表アドレス: hashi-shoku-kan@biwahaku.jp

グループ担当職員: 芦谷 美奈子

山々の緑の中にシイの黄金色(雄花の色)が混じり始め、タニウツギ、カマツカが咲き始めました。博物館のホオノキ、ヒトツバタゴ、イカリソウもきっと咲いているでしょうね。

【活動報告】

- 4月 5日(日) 中止 →自主活動
- 5月10日(日) 中止 →自主活動

今年は、こんないい季節にメンバーでお出かけ活動が出来ず、3月から自主活動となっています。元々、分からないものや詳しく調べたいものを持ち寄って調べたり、博物館周辺の観察の際に採取したものを分解したりする活動が多かったこと、一人であちこちへ出かけるメンバーが多数いることなどが幸いし、植物に触れる機会は減ってはいないようです。

活動内容としては、集まることが出来ないため、統一はしていません。

ただ、今年は偶然、5年ごとの「西日本タンポポ調査」の年に当たっていることもあって、フィールドレポーターで送られてきた調査表のおかげで単独活動が可能だったことは、有り難かったです。

グループメールの内容は、例えば、①「癒されてください〜」という感じで、日常の植物との出会いを画像と共に配信
②「ここへ行って来ましたー」とその様子、咲いていた植物 ③「教えてくださいー」の質問とそれへの返信。もちろん
配信も返信も強制ではありません。

1 番最近の配信は、こんな感じでした。

----- 植物観察の会 皆さま -----

「今日は、6～7年ぶりに以前行っていた四日市の海岸（家から約30km）へ行って来ました。マテ貝やアサリが採
れることもあって、車は多い方でした。護岸工事が大々的に行われたようで、景色は一変していました。

ただ、うっそうと茂っていたヨシ、ツルヨシ、テリハノイバラが取り除かれて、簡単に歩けるようになっていたの
は嬉しかったです。以前はうっそうとした中でほんの一部細々と残っていたハマダイコン、ハマエンドウが大きな株
であちこちにあり、咲き誇っているのは、工事のおかげでしょうね。ハマヒル
ガオ、ハマボウフウの位置は、ずいぶん波打ち際から離れていました。大きな
台風があるたびに、潮のかかからないところへ後退していくと聞いたことがあり、
砂に埋もれても簡単には枯れないそうです。

チゴガニ（はさみを振るダンスも見られた！）と別のカニがいましたー。

以前はアシハラガニやベンケイガニが踏んでしまいそうなくらいいたの
に、今日は出会えませんでした。

日中は暑くなってきたので、皆さま、ご注意ください(^^) 」



【活動予定】

■月に1回、**第1日曜日の午後**を予定しています。遠出の場合は、これに限らず、変則的になります。

外部で行う観察会は、年に数回、みなさんにも呼びかけを行う予定です。このニューズレターを見て、直接現地へお越し
ください。基本的には、危険が無く雨でも歩ける所で、大雨や警報が出ない限り「行う」方向でいます。

■ 6月7日（日） お出かけ観察 「みなくち子どもの森へ行こう ②」

場所：甲賀市 みなくち子どもの森 時間：10:00～12:30 ごろ（9:55 集合）

■ 7月5日（日） 「博物館周りの観察、調べたいものを持ち寄って調べよう」

場所：琵琶湖博物館 実習室1または2、またはラボ 時間：13:30～16:00

■ 8月2日（日） 「9月の活動（お出かけ水草観察③）について、調べたいものを持ち寄って調べよう」

場所：琵琶湖博物館 実習室1または2、またはラボ 時間：13:30～16:00

※10月以降の計画は、8月に話し合って決めます。

この活動に興味のある方は、メール（上記メールアドレス）にてご連絡ください（^o^）/
当日、直接、実習室へ来ていただいても結構です。



(13) たんさいぼうの会

【活動報告日の活動会員数(のべ) 21名】

グループ代表アドレス: hashi-keisou@biwahaku.jp

グループ担当職員 大塚 泰介(影の会長)

【活動報告】

たんさいぼうの会のメンバーは、4月中旬までは顕微鏡観察や培養株の植え継ぎのために、個別に博物館に来て活動してい
ましたが、全国に緊急事態宣言が出て職員の出勤が制限されると、それもできなくなりました。4月19日に草津市まちづくりセン
ターで開催予定だった第62回総会も、センターの休館により中止となりました。会員数名が発表を予定していた日本珪藻学会
大会(5月16-17日、つくば)も中止になりました。

そこで私たちは、たんさいぼうの会第62回総会を、zoom上で行いました。開催は5月17日(日)16時から、8名がそれぞ
れの自宅から参加しました。今年は少なくとも夏くらいまで、集まって行うイベントや調査などが難しくなるので、個々の研究と調査
を進めていくことになりました。そして終了後、zoom総会は直ちにzoom飲み会へと早変わりしたのでした。

【活動予定】

集まらなくてもできる活動を、それぞれに進めていきます。藤ヶ鳴湿原(岡山市)および瀬田公園湿地(大津市)の珪藻につい
ては、研究発表ができる段階まで来ています。個人研究では、藤前干潟(名古屋市の珪藻植生研究が査読意見を受けて修正
中であるほか、メダカの水槽に出現した珪藻の研究も研究発表ができる段階まで来ています。こうした研究については、学会開

催の目途が立たないため、研究がまとまってきたらそのまま論文を書いてしまう方針にしています。

他にも、古琵琶湖層群蒲生層の古環境の研究、古琵琶湖層群甲賀層の化石珪藻の研究、愛知県の鈹質土壌湿地群の珪藻植生研究、曾根沼・野田沼(彦根市)の珪藻植生研究などを進めています。



(14) 田んぼの生きもの調査グループ 【活動報告日の活動会員数(のべ) 1名】

グループ代表アドレス: hashi-tambo@biwahaku.jp

グループ担当職員: 鈴木 隆仁

新型コロナウイルス感染拡大のなか、入院、休業等さまざまな苦難にあわれた方々に、心からお見舞い申し上げます。また、対策に尽力されている多くの皆様に、深く感謝いたします。

さて、私たちが活動のフィールドとしています、滋賀県の多くの水田では、例年通り、5月上旬から順次田植えが始まり、生きものの姿も見られるようになってきました。しかし、2種類のカブトエビが見られる大津市南部地区では、宅地開発の進行で生息域が徐々に狭まっているため、調査データの収集を急ぐ必要があります。

【活動報告】

- ・3月に予定していた総会は、博物館の臨時休館に伴い中止しました。
- ・例年、4月に実施している準備会も、博物館の臨時休館が続いているため中止しました。標本採集用のアルコール入りサンプル瓶は、博物館職員に作成いただきました。
- ・総会で議論を予定していましたが、昨年度の活動報告と本年度の活動計画につきましては、これらを記載した年報の原稿を、5月14日に会員の皆様へメールで配信し、事後承認をお願いしました。
- ・大津市南部地区において、2種類のカブトエビの生息が記録されている水田をピックアップし、5月17日に、本年度の耕作状況を確認する予備調査を実施しました。

【活動予定】

- ・新型コロナウイルス感染症の再拡大も懸念されるため、本年度は、メンバー全員が参加する一斉調査は実施しません。
- ・会員の皆様には、無理のない範囲で、お近くの水田等において調査を行っていただくようお願いします。上記、大津市南部地区の調査にご協力いただける場合は、代表の山川までメールでご連絡ください。

(山川 栄樹)



(15) たんぽぽ調査はしかけ 【活動報告日の活動会員数(のべ) 1名】

グループ代表アドレス: hashi-tanpopo@biwahaku.jp

グループ担当職員: 芦谷 美奈子

<「たんぽぽ調査・西日本2020」実施中>

「たんぽぽ調査はしかけ」は、「たんぽぽ調査・西日本2015」というたんぽぽの参加型広域調査に協力しながらたんぽぽについて学ぶことを目的にしているグループです。5年に1度2年にわたって実施される広域調査ですが、ついに来る3月から「たんぽぽ調査・西日本2020」の調査が始まり、とうとう2年目の本調査になりました。琵琶湖博物館は、前回に引き続いて滋賀県の実行委員会を引き受けています。

<「たんぽぽ調査・西日本2020」の調査期間を延長予定>

今回の新型コロナウイルスの感染防止対策として、すべての参加府県で、広く参加を呼びかけるイベントや行事が中止になっているため、本調査事務局では調査尾2021年まで延長して実施することを決めました。実際には府県ごとに方針を決めることとなりますが、滋賀県では2021年まで調査を延長することを検討中です。

<はしかけメンバー募集中!>

本調査は、2020年3月1日から始まっています。2021年も継続する可能性があります。興味のある方は、上記メールアドレスに連絡をくださるか、博物館で学芸員の芦谷に声をおかけください。

【活動報告】

2020年4月11日(土) 13:30～ 琵琶湖博物館観察会「からすま半島でたんぽぽを調べよう」→中止

【活動予定】

現時点で決まっている行事はなし。



(16) ちこあそ

【活動報告日の活動会員数(のべ) — 名】

グループ代表アドレス: hashi-chikoaso@biwahaku.jp

グループ担当職員: 中村 久美子

【活動報告】

◆4月、5月の活動はコロナウイルスの感染防止のため、残念ながら中止しました。

◆初めてのちこあそ ZOOM 会議

5/20 にちこあそ ZOOM 会議を行いました。短時間でしたが、以下について検討しました。

- ・会員の近況やコロナウイルス禍での過ごし方の情報交換
- ・博物館の閉館や今後の開館状況のお知らせ
- ・ちこあその実施に向けての検討
- ・コロナ禍での子どもを持つ親子の過ごし方についてのアンケートの検討
- ・ちこあそ参加者向けの博物館以外での受け入れの検討
- ・生活実験工房の畑で苗の植え付け

ちこあそは、生活実験工房周辺の展示空間の自然で活動しており、屋外活動ですので、感染のリスクは低いのですが、幼児が密接になり遊ぶことは避けられません。三密を避け、また社会的な理解を得ながら活動できる状況を検討しています。

WEBで、活動の様子や次回のチラシを掲載しています。http://blog.goo.ne.jp/eco-macha をご覧ください。

【活動予定】

活動月	実施日、時間	タイトル	内容
6月	6月2日(火)	苗の植え付け	はしかけメンバーで野菜苗を植える予定です。
6月	6月17日(水) 10:00-14:00	ちこあそ6月	※毎月おおよそ第3水曜日に行っています。 コロナ禍のため実施についてはその都度判断します。
7月	7月15日(水) 10:00-14:00	ちこあそ7月	ループでの自然観察、森の探検、工房の食体験など やさしい自然遊びを子どもや保護者の方とゆっくり、ポチポチ過ごします。

新しいメンバーも飛び入りも大募集中です。一緒に子ども達と遊びましょう！



(17) 琵琶湖の小さな生き物を観察する会 【活動報告日の活動会員数(のべ) — 名】

グループ代表アドレス: hashi-bck@biwahaku.jp

グループ担当職員: 大塚 泰介

【活動報告】

■ 3月28日(土) 観察会 中止

【活動予定】

琵琶湖の小さな生き物を観察する会では月に1回、観察会を行っています。見学・参加希望の方はグループ代表アドレスまでお問い合わせください。



(18) びわたん

【活動報告日の活動会員数(のべ) 一名】

グループ代表アドレス: hashi-biwatan@biwahaku.jp

グループ担当職員: 由良 嘉基・奥野 知之

【活動報告】

- わくわく探検隊 5 月イベント「春の草花でしおりをつくろう！」中止

【活動予定】

琵琶湖博物館の休館に伴い、わくわく探検隊のイベントが中止になっています。びわたんでは、集まって活動ができない厳しい状況です。

残念ですが、先日 6 月に予定されているわくわく探検隊「プランクトンを見よう！」も中止の決定がされました。

みなさんは、不要不急の外出を避けるということで、おうちで過ごす時間が長くなっていると思います。そこで、琵琶湖博物ホームページで紹介されている「おうちミュージアム」に、わくわく探検隊のイベント『おさかなモビールをつくろう！』をおうちでもできる簡単バージョンで掲載する予定です。是非、おうちでおさかなモビールを作ってもらえればと思います。



びわたん (おんちゃん)



(19) ほねほねくらぶ

【活動報告日の活動会員数(のべ) 一名】

グループ代表アドレス: hashi-hone-hone@biwahaku.jp

グループ担当職員: 中村 久美子・松岡 由子

【活動報告】

- 4 月の土曜日、日曜日などに 2~3 日間の活動の予定でしたが中止となりました。
- 5 月の土曜日、日曜日などに 2~3 日間の活動の予定でしたが中止となりました。
- また 5 月 17 日に予定されていた、はしかけ 登録講座が中止になりましたので、講座での活動紹介も中止となりました。

【活動予定】

6 月、7 月の詳しい活動日は現在未定ですが、月に 2 回程度、土曜日・日曜日に活動を予定しております。



(20) 緑のくすり箱

【活動報告日の活動会員数(のべ) 一名】

グループ代表アドレス: hashi-midori-k@biwahaku.jp


グループ担当職員: 大槻 達郎

【活動報告】

新型コロナウイルス感染予防のため、琵琶湖博物館が休館となりました。

3月に予定していた総会が開けず、今年度の計画についても話しあうことが出来なかった為、活動としては何も実施していませんが、LINEのグループトークやメールで、メンバーがハーブやアロマ、園芸などの分野で、実施していることについて文章や写真を交流しましたので、まとめてみました。

～～ お料理編 ～～

<ul style="list-style-type: none"> ・ヨモギの天ぷら (吉野ま) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ヨモギ餅 (山本) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ヨモギ白玉 (堀田) 
<ul style="list-style-type: none"> ・フキノトウ豆腐ハンバーグや餃子 (山本) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ヤマモモジュース (江間) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ローズマリーのフォカッチャ (吉野ま) 
<ul style="list-style-type: none"> ・2年熟成の味噌 (熊谷) 	<ul style="list-style-type: none"> ・天然のきくらげを中華炒めに (江間) 	<ul style="list-style-type: none"> ・香辛料を使ったピクルス (江間) 

- ・ヨモギのフレッシュハーブティ (加藤)
- ・ヨモギやフキの天ぷら (加藤)
- ・コシアブラやコゴミなど山菜の天ぷら (堀田)
- ・セリ、ユキノシタ、カンゾウ、カラスノエンドウ、タンポポ、ツバキの花などの天ぷら (吉野千)
- ・カラスノエンドウの胡麻和え (吉野千)

- ・ノビル根のしょうゆ漬け (吉野千)
- ・ムベの新芽、ツワブキの茎のきんぴら (吉野千)
- ・ノジシャ、タンポポの葉、カラスノエンドウ、セイヨウカラシナのサラダ (吉野千)

～～ 化粧品編 ～～


<ul style="list-style-type: none"> ・キンセンカの化粧品に使う花びらの乾燥 (大羽) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ドクダミチンキで手作り化粧水 (堀田) 	<ul style="list-style-type: none"> ・子供の日に菖蒲湯、菖蒲の葉のハチマキ (熊谷)
		

- ・ビワ、ヨモギ、トウキの薬草風呂 (加藤)
- ・以前作ったチンキで手作り化粧水 (深田)

Q&A

- ◎賞味期限切れのハーブティや、数年前に自家干したハーブ、どう利用するか? (熊谷)
- ①ポプリやクラフトに使う (吉野ま)、入浴に使用する (堀田)

～～ 生活や園芸編 ～～

<ul style="list-style-type: none"> ・野草の名前調べ (吉野ま) 	<ul style="list-style-type: none"> ・お庭のスパイスやハーブ (堀田)
	

・お庭の春の花々やハーブ
(加藤)



Q&A

◎イングリッシュ系のラベンダーは暑さに弱いのでどうしたらいいか？ (吉野ま)

①長崎ラベンダー (リトルマミーなど) はイングリッシュ系でも耐暑性がある。(久国)

Q&A

◎11月の活動で作った廃油石鹸が使用可能か、また食器洗いの他に浴用として使用できるか？ (熊谷)

①廃油石鹸は使用可能。浴用の使用感としては、カサカサになった肌にしっとりとしてよいと思う。
夏場の汗をかく時期は、逆にべたつくかもしれない。(堀田)

～～ 中止になった活動について ～～

■ 5月17日(日) 守山市 ルシオールのワークショップ アンモナイトの石鹸作り 中止

■ 5月20日(水) アロマウォーターを作ろう 中止

【活動予定】

■ 6月中 琵琶湖博物館が開館したら、総会を実施したいと思います。



(21) 虫架け

【活動報告日の活動会員数(のべ) — 名】

グループ代表アドレス: hashi-mushikake@biwahaku.jp

グループ担当職員: 八尋 克郎

【活動報告】

3月20日に大津市で予定していた野外活動は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の為、自粛しました。

我々虫架けグループは、2018年9月からほぼ毎月、会報「虫架け通信」を利用し、細かい調査活動記録を残し、情報共有を図っています。

直近では、採集した昆虫の目録や、飼育記録も掲載しています。

また「虫架け通信」を、自粛期間の活動事例として他のはしかけグループに紹介して頂きました。

虫架け通信 No.19

2020年4月12日発行



3月例会報告

残念ながら3月の活動が中止になったため報告はありません。

連絡

4月の虫架け活動は、このまま長期停刊状態の可能性があることになれば中止となります。5月17日に予定されていた、はしかけ 登録講座は中止になりました。現在虫架けの事務局再開は見合わせており参加予定はありませんでしたが、念のため報告します。なお、コロナの影響がなければ7月25日(日)は例年通り、工原行事として昆虫採集が行われる予定です。コロナの影響がどの程度まで続くのか、活動は半期中断で、雨天中止となっています。

昆虫豆知識

今回は博物館敷地内でもよく見かけるヤブシカミキリ *Psephenus albatus* についての豆知識です。このカミキリ科はツバキ科の仲間につき、産地 (type locality) は中国北部とされています。産地は各地でよく普通に見られますが、意外にその産地は誤記されています。産地は北緯温帯を除く、日本列島に広く生息し、海外では中国、台湾、韓国 (朝鮮半島) に分布しています。また、列島南部の島々で多くの産地に分けられています。さらに、本州、四国、九州においてもその一つは同じ系統ではないとされています。

産地産地は西日本型とされ中部地方 (岐阜県より西) から東海・近畿・中国・四国・九州北部に、中部地方 (岐阜県より東)・関東、東北には東日本型、九州中・南部にも別系統由来の個体群 (南九州型) が分布しています。南九州型の名については私が提案し付けたもので、一般的名称ではありません。残念ながら、南九州型の標本は含まれていないので違いが判りませんが、西日本型と東日本型については前胸背線に異なる線が通るのか通らないかで見分けられるとされています。ただし、多くの個体を見るに微妙な個体も含まれるため判断するのに注意が必要で、では両型その違いを紹介していきます。



西日本型
鳥丸半島で撮影した
生体写真 (左) と
標本 (右) です。
明らかに前胸背の線が
中断しています。



東日本型
神奈川県産の標本です。前胸背の線が連続しています。
東日本型は中国北部から台湾から移入したと考えられています。それが正しければ東日本型は産地産地となります。Psephenus albatus albatus と表記されることとなります。学名については以前の通説で紹介したように、属名と種名の二名法で表されますが、産地が存在する場合には三名法となり、属名・種名・産地名と列記されます。

記録・短報

1頁: 2020年に入って数回成虫八幡刺の昆虫調査を継続して行っています。まだ採集品の整理が終わっていませんので、まともな更新報告をさせていただきます。

K表: 産地から採集。自宅にて飼育しているミドリシジミと類似のミドリシジミの一種 (以下メスアガ!) について報告します。

1/14	大津市にて産地が採集
2/29	産地から採集 (メスアガ? 羽、フジ色? 羽、3/11まで冷蔵庫にて保管)
3/11	羽、冷蔵庫から取り出す。卵をマニキュアで、メスアガに似せ、産地に付けた。(体長約2mm)
3/13	産地から採集。産地の近くに採ったものか、産地は見えない。
3/14	産地。体色がグレーから黄褐色に。体長約4mmに。
3/15	産地を産地。新しい産地に移した。
3/17	産地。3羽成虫に。自分の産地から食べていた。
3/23	体長1.5mmに。 よく産地を食べ多くフンが出るので、この頃から毎日産地を消費する。
3/29	体長1.5mmに。
4/3	体長2.0mmに。
4/4	産地にシワが出来、産地を食べずに産地内を歩き回る。小さな産地を入れてやる。
4/5	産地の内側に寄りついて静止。
4/7	産地。

最後に

コロナ騒ぎで世間は大変なことになっていますが、産地の管理にたいはくれぐれも体調管理には気を付けて下さい。また心と一緒に調査活動できる日を楽しみにしております。
なおネタ不足にはなりますが、虫架け通信は可能な限り送らせていただきますのでよろしくお願い致します。

編集: 虫架け有志

【活動予定】

今後コロナウィルスの自粛が緩和されたのちには、従来のように1か月に1回程度の野外調査や室内勉強会を再開したいと考えております。山間部などで昼夜問わず観察・採集などをして、滋賀県内の分布調査をしています。

※都合により、新規会員の募集は当面見合わせております。(文責: 梶田)



(22) 森人(もりひと)

【活動報告日の活動会員数(のべ) — 名】

グループ代表アドレス: hashi-morihito@biwahaku.jp

グループ担当職員: 林 竜馬

【活動報告】

新型コロナウイルス対策のため本年3月以降の以下の活動を中止しています。

- 3月14日(土) 動物カメラのメンテナンス、屋外の森の保全活動など。
- 3月28日(土) 植樹した木 (樹冠トレイル) の毎木調査。
- 4月11日(土) 屋外の森の保全活動など。
- 4月25日(土) 琵琶湖博物館周辺の植物ガイドブックの作成準備。
- 5月9日(土) 外部観察会。

【活動予定】

- ① 今後の予定：可能になれば三密を避けるため屋外での活動をメインに実施する予定です。
- ② オンラインでの情報交換：現状はメーリングリストを利用していますが今後、林さんに立ち上げてもらった森人の情報共有ブログを活用して森の見どころ情報などを発信したいと思います。

5月の太古の森はメタセコイア、スイショウ、フウなどの爽やかな新緑に包まれ若々しい果実が顔をのぞかせ、縄文・弥生の森ではイチイガシ、シイノキ、クスノキなどの花が地味ながらびっしりと咲いていることでしょう。これまでに撮影した写真でその一部を紹介します。



メタセコイア



センペルセコイア 新葉



スイショウ



フウ



シナサワグルミ



オニグルミ



シイノキ



イチイガシ



クスノキ

以上



(23) 琵琶湖梁山泊

【活動報告日の活動会員数(のべ) 一名】

グループ代表アドレス: hashi-ryozanpaku@biwahaku.jp

グループ担当職員: 中井 克樹

【活動報告】

3月29日(日)に予定していた研鑽会は、新型コロナウイルス感染症対策の一環としての自粛要請に従い、中止となりました。

【活動予定】

高等学校の科学部がグループの主な構成員であるため、各学校における昨今の新型コロナウイルス感染症への対応状況に応じて、活動を進めていきたいと考えています。



SALON DE 湖流
LIBRAIRIE MARS MUSEUMS

(24) サロン de 湖流

【活動報告日の活動会員数(のべ) 一名】

グループ代表アドレス: hashi-salondekoryu@biwahaku.jp

グループ担当職員: 戸田 孝

【活動報告】

■ 4月11日(土)

■ 5月9日(土)

今後に向けての活動方針検討を予定していましたが、コロナウイルス対策のため中止となりました。

【活動予定】

当面は原則として毎月第二土曜の午後に会合を持つことにします。



(25) 水と暮らし研究会

【活動報告日の活動会員数(のべ) 一名】

グループ代表アドレス: hashi-mizu-kurashi@biwahaku.jp

グループ担当職員: 楊 平

【活動報告】

■ 3月5日(月) 8:30~15:00 予定参加者: 6名

- ① 活動場所: 東近江エリア
- ② 調査目的: 東近江における渡来人の足跡の見聞調査。
- ③ 調査場所詳細: 調査に際し、地元の郷土史家からお話を伺う予定であった。その後、渡来人と関係が深い「あかね古墳」「願成寺」「石塔寺」等の見学を計画していたが、コロナウイルスの緊急事態宣言で活動を中止した。

【活動予定】

2020年度活動方針に基づき、昨年度後半より実施している周辺山地より流れ出た水がどのようにして琵琶湖へ流れ込んでいるのか、またその過程で暮らしにおける水の関わり方、暮らしの多様性に視点を置いた活動にしていく方針であり、この近江の文化の発展に大きな貢献をした渡来人の足跡についても見聞し、何故、この地方であったのか?水との関係は?などを調査して行く予定である。

(本稿の執筆者: 小篠)



(26) 海浜植物守りたい

【活動報告日の活動会員数(のべ) 12名】

グループ代表アドレス: hashi-kaihin@biwahaku.jp

グループ担当職員: 大槻 達郎

【活動報告】

■活動日時 令和2年3月12(木) 晴れ 気温: 13℃

活動時間 9時20分～15時00分

参加者 はしかけメンバー2名・松村 津田



思いのほか波が荒い琵琶湖

活動内容 (観察)

1. 琵琶湖の様子

- *中山道ウォークがコロナウイルスの影響で中止となったため松村さんと津田で浜観察に出かけた。
- *暖かな春の一日。しかし、琵琶湖は思いの他波がある。歩いていると暖かいが浜辺で休憩すると寒い。春はもう少し先かな。
- *愛知川近くの浜辺にはホテルや工場が建ち、散策道が整備されていて散策する人もちらほら。

2. 南浜の様子

- ・水位が高いからだろうか、南浜の波除の土嚢袋のあたりまで波が押し寄せている全体的に昨年歩いた砂浜が狭くなっている。
- ・ゴミが多い。(ペットボトル・木くず・肥料袋等) 流木は少ない。
- ・テルハノイバラが至る所に枝を伸ばしている。
- ・昨年駆除した川のナガエツルノゲトウは見当たらない。



南浜(土嚢あたりまで波が来ている)

3. 新海南浜植物観察

- *デイサービスセンター、保育園あたりの浜にハマダイコンが咲いていた。昨年あった琵琶湖コンファレンスセンター駐車場からの浜には見つからなかった。
- *ハマエンドウは昨年と同じ場所にあった。チガヤに守られているためか背も高く葉も伸びて生き生きしている。
- *松を植栽されていた。昨年はハリエンジュを根こそぎ取ってから植栽していたが本年度は県の方針により根元を残して植栽されていた。今年の夏にはこの切り株から新芽が噴き出すことが心配される。



松の植栽。ハリエンジュは株が残っている。

4. さばえ浜の植物観察

- *タチスズシロソウが確認できたが全体的に株も少ない。ちなみに昨年は4月1日に確認している。丸い葉と、細長い葉の二種類があった。



保護柵内のハマエンドウ



南浜のハマエンドウ



南浜の浜ダイコン(手前紫・奥白色)



テルハノイバラが目立つ



左: タチスズシロソウ



右: フシグロ

■活動日時 令和2年3月20日(金) 曇り 気温:12℃

活動時間 8時45分～11時 20分

参加者 ・ネイチャーズ 宇野さん

・はしかけメンバー3名 清田、小西、阿部

場所状況 彦根市新海浜

*北西の風が吹く寒い作業日

*琵琶湖は水位が高く、波が打ち寄せていた。

活動内容

*保護区内のハマゴウの除去

*保護区北側のメドハギ、コマツヨイグサ、メマツヨイグサの除去

海浜植物観察状況

*ハマエンドウ

- ・拡張した通路に向かって広がってきている。
- ・第2浜のハマエンドウはチガヤの中で育っていた。

*ハマゴウ

- ・未だ新芽は出ていない。

*ハマヒルガオ

- ・砂の中で若葉が出始めている。
- ・トイレの北側の石積みの所では葉を広げていた。

*ハマダイコン

- ・数は少ないが数本花が咲いていた。

*佐波江浜のタチスズシロソウ

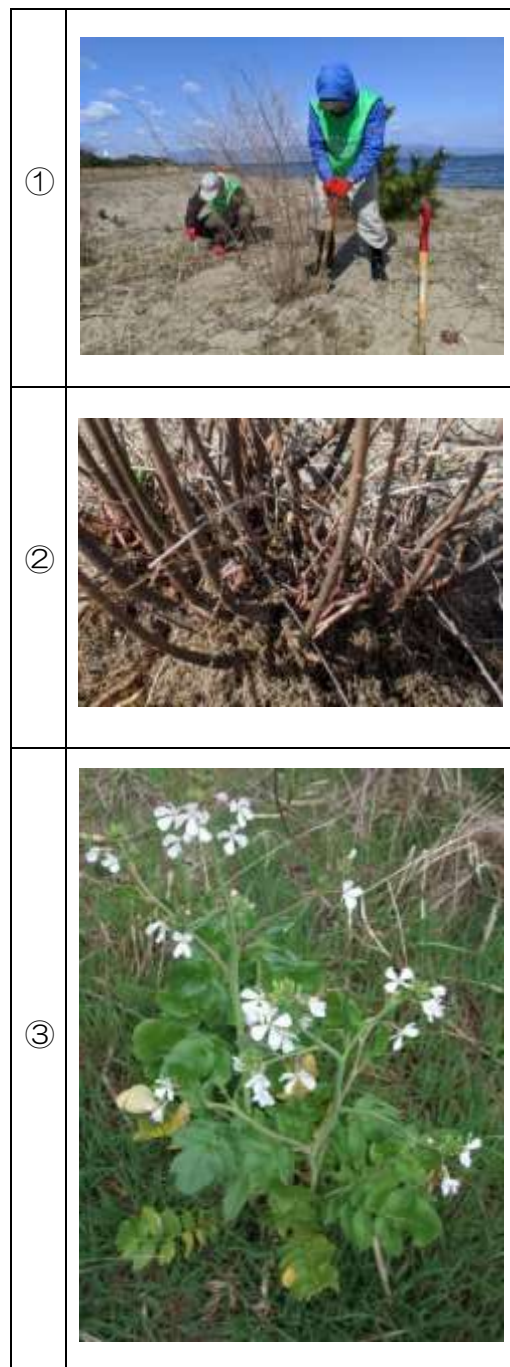
- ・10cmぐらいの高さで10数本花が咲いていた。

*宇野さんからの話

- ・4月中頃からハマエンドウが開花するので保護区内の草取りは止める。
- ・ハマエンドウは浜側に砂を入れたことで広がって行かないと思われる。今の保護区あたりは昔愛知川氾濫等での土砂により出来ている。
- ・その他 県営都市公園ボランティア登録申請書類確認して頂いた。

【写真説明】

- ① メドハギの除去
- ② メドハギの根本に赤い新芽が出ていた。
- ③ ハマダイコン
- ④ 第2浜のハマエンドウ
- ⑤ 新海浜トイレ前の石積み脇 葉を広げたハマヒルガオ
- ⑥ 第2浜ハマエンドウの群落地前で（背景の棕櫚が目印）
- ⑦ 佐波江浜のタチスズシロソウ



■活動日時 令和2年4月7日(火)晴れ 気温:17℃

活動時間 9時00分～11時40分

参加者 ・新海浜の宇野さん

・はしかけメンバー 5名:阿部・清田、小西・松村・津田

場所状況

- ・琵琶湖にカスミがかかる風のない暖かな作業日
- ・琵琶湖は水位が高く、波が少しある。
- ・コロナウイルス防止のため間隔をあけて作業をした。

活動内容

- *保護区内の雑草取り (宇野さん)
- *浜のメドハギ、コマツヨイグサ、メマツヨイグサ、チガヤ等の除去

海浜植物観察状況

- *ハマエンドウ
 - ・松の木の木漏れ日のあたる辺りは葉が大きく密集している。
 - ・つぼみらしきものが見られた。
- *ハマゴウ
 - ・未だ新芽は出ていない。
- *ハマヒルガオ
 - ・砂の中で若葉が広がっているが、葉はまだ小さい。
 - ・浜のあちこちに広がっている。
- *ハマダイコン
 - ・南浜の昨年咲いていたあたりにあちこちに咲いている。
 - ・群集する場所発見 (松の植林場所南)
- *佐波江浜のタチスズシロソウ。
 - ・10cmぐらいの高さであちこちに咲いていたが昨年より少し少ない。
 - ・多年草らしき花が一所咲いていた。
 - ・車輪の後がある。



今日の琵琶湖



松の木下のエンドウ
つぼみらしきものがある



佐波江浜のタチスズシ
ロソウ



作業の様子
左：一人メドハ
ギの除去をする
清田さん（遠く
に見える）



葉を広げたハマヒルガオ (佐波江浜)



群集するハマダイコン



おまけ 巣作りする鳥

■活動日時 令和2年4月15日(水) 晴れ 気温: 17℃

活動時間 9時30分~12時

参加者 はしかけメンバー2名 ・松村 津田

場所状況 彦根新海浜

- *風のない暖かな作業日。自主部会が中止となり出かけてみた。
- *琵琶湖は穏やかな波。12日13日の雨と強風で浜欠が起こり、葦や木クズ、ヒシの実が打ち上げられていた。
(プラスチック等の家庭ごみは見当たらない)
- *ハマヒルガオの根が波に洗われむきだしになっている。台風22号が思い出される風景だ。

活動内容

*浜のコマツヨイグサ、メマツヨイグサ、チガヤ等の除去

海浜植物観察状況

- *ハマエンドウ
 - ・葉が大きくなり緑も濃い。
 - ・花がぼつりぼつりと咲いている。道路側の日の当たる松の下、保護柵西の外の松とチガヤが混生している保護柵の下あたりは5株ほど咲いている。やはり、日光とチガヤ等の植物との共生がいいのだろうか?
- *ハマゴウ
 - ・未だ新芽は出ていない。
- *ハマヒルガオ
 - ・砂の中で若葉が一面に見られる。葉も大きく緑が濃くなってきた。
 - ・一方、むき出しの茎や根が痛々しい。

写真説明

- ① 日の琵琶湖(霞がかかり穏やか)
- ② ハマエンドウの葉が生き生きしてきた。
- ③ 波に洗われたハマヒルガオの根
- ④ ハマヒルガオの地下茎
- ⑤ 浜に広がったハマヒルガオ
- ⑥ ごみの中にはヒシの実とハマゴウの種が混じっている
- ⑦ 保護区西のロープの境界に花を咲かせる花エンドウ



次回の活動日

*未定

3. 生活実験工房からのお知らせ

今年の田植えは博物館が休館中であることから、イベントとしては実施せず、交流系のメンバーで行いました。やはり、子供たちの声が聞こえず少し寂しいものがありました。日本中で田植え帰省の自粛が叫ばれたことを思うと、寂しい田植えを経験された農家さんがたくさんいらっしゃるのかもしれませんが。

また、7月の昆虫採集も密な状態を避けるため残念ながら中止となります。
9月には稲刈りで皆さんにお会いできることを楽しみにしております。

担当係：交流係

【活動予定】

開催時間 10:00～12:00 (受付 9:30～) 場所：生活実験工房
稲刈りについては、各自、長靴、着替え等をご用意ください。

- 7月 26日 (日) 昆虫採集 中止
- 9月 6日 (日) 稲刈り、はさ掛け (早稲品種)
- 10月 4日 (日) 稲刈り、はさ掛け (晩稲品種)

4. その他の事項

(1) メールアドレスとホームページアドレスの変更について

びわ博の情報システム変更にもなっており、メールアドレスとホームページのURLが変更になりました。新しいメールアドレスは「***@biwahaku.jp」、ホームページは「<https://www.biwahaku.jp/>」です。なにか不備がありましたら、事務局までお問い合わせください。

(2) はしかけグループの活動に初めて参加する場合

ニューズレター発行後、活動日・活動場所が変更になる場合があります。グループの活動に初めて参加する時は、事前に各はしかけグループの担当者に確認をお願いします。メールの場合は、グループ代表アドレス (各グループの報告欄に掲載) にご連絡ください。

(3) 名札 (会員証) の写真について

名札 (会員証) の写真を更新されたい方は、はしかけ制度担当者 hashi-adm@biwahaku.jp まで送って下さい。ただし、必ず本人確認ができるものに限りです。

(4) はしかけ会員証の携帯のお願い

はしかけ活動で来館する場合は、会員証を必ず持参してください。会員証を携帯せずに活動することは、原則的ではありません。

(5) はしかけ活動中に事故が起きたら

はしかけ会員は、ボランティア保険に加入する必要があります。加入時に、ボランティア保険加入カードが各自に配布されますので、活動中に事故などが発生した場合には、加入者カードに書いてある連絡先 (社会福祉法人 滋賀県社会福祉協議会 TEL: 077-567-3920 FAX: 077-567-3923) へ、速やかに連絡してください (各人で連絡)。

なお、手続きには、グループ担当者 (学芸員) の活動証明が必要ですから連絡してください。

詳しくは、最新年度の「ボランティア保険」パンフレットをご覧ください。「ボランティア保険」のパンフレットは、はしかけ事務局 (博物館事務学芸室) にも置いています。